

文献

- 藤井その子, 松本綾, 中村純子, 池谷登美枝 (2008). 出産後も継続して働く看護師と同僚看護師の心情の分析 職場のサポート体制の構築を目指して. 日本看護学会論文集:看護管理 38, 354-356.
- 藤本美由紀, 木戸久美子, 伊東美佐江 (2011). 子育てと仕事の両立に影響する要因 子育て期に就業経験のある女性への面接データ分析から. 母性衛生, 51 (4), 704-710
- 藤村一美, 秋月百合 (2009). 助産師の職業性ストレス 病院勤務助産師のインタビュー結果から. 淑徳大学看護学部紀要. 1, 35-44.
- 福井トシ子 (2013). 助産師を取り巻く現状と課題. <http://www.nurse.or.jp/nursing/josan/pdf/2013/25eisei.pdf>
- 福井トシ子 (2012). 助産師業務要覧〈1〉基礎編(第2版). 日本看護協会出版会.
- 袋谷まゆみ, 水木育恵, 山下ちはる, 北條千春, 谷越有利子, 明和靖恵... 瀧本裕士 (2012). 子育て中の看護師の仕事意欲と仲間からの被サポート感との関連. 富山県立中央病院医学雑誌, 35 (3-4), 97-101.
- 林由紀, 中村慶子 (2013). 復職看護師の職業経験の質の分析. 日本看護学会論文集:看護管理, 43, 455-458.
- 林裕子, 栗原早苗, 山口彩, 大西美千代, 津田恭子, 北村幸子, 越野みつ子 (2014). 妊娠中の看護師が ICU で働くことへの思いに関する実態調査. 日本看護学会論文集:看護総合, 44, 236-239.
- 一之瀬まきの (2014). 〈子育て〉という経験が看護に及ぼす影響～役職をもたない看護師に焦点を当てて～. 北日本看護学会誌, 17 (1), 31-39.
- i-Library MOT テキスト製作委員会 (2008-2010). 経営基礎用語集. <http://www.ilibrary.jp/MOTtextBooks/words/OrgCul.html>
- 石田智美, 小出亜希子, 宮田久枝 (2014). 勤労妊婦の妊娠期における自己管理と助産師のかわり. 兵庫県母性衛生学会雑誌, 23, 49-57.
- 石倉弥生, 三瓶まり, 比良静代, 松浦志保 (2014). 助産師の仕事意欲と仕事ストレスの関連 産科単科病棟と混合病棟での比較. 母性衛生, 54 (4), 588-594.
- 伊都香, 埴岡康恵子, 峰平一二美 (2009). 医療安全に関する意識向上を目指した育児休業者職場復帰前安全教育の効果. 日本職業・災害医学会誌, 57 (6), 293-296.

- 北川良子(2011). 出産・育児期にある助産師の仕事意欲に影響を及ぼす要因. 母性衛生, 51 (4), 684-693.
- 北川良子(2010). 助産師の出産・育児と就業継続の関連要因 就業継続状況に焦点をあてて. 日本助産学会誌, 24(2), 345-357.
- 小林美希(2011). ルポ職場流産一雇用崩壊後の妊娠・出産・育児(pp76-82) 岩波書店.
- 是村利幸, 大堀昇, 湯沢八江(2015). 医療安全業務に携わる看護師の仕事意欲に影響する要因. 日本医療マネジメント学会雑誌, 16(2), 70-74.
- 厚生労働省(2015). 報道発表資料—保育所入所待機児童数(平成26年10月). <http://www.mhlw.go.jp/stf/houdou/0000078441.html>
- 厚生労働省(2014). 平成26年版厚生労働白書.
- 厚生労働省(2013). 平成25年版厚生労働白書.
- 熊谷富子(2009), 【働き続けられる職場づくりへ 短時間正職員制度導入のポイントと実例】報告 看護職の多様な勤務形態導入モデル事業中間報告 「看護職の多様な勤務形態導入モデル事業」に参加して お互いに協力し合える組織風土づくりを推進, 看護 61(7), 81-87.
- 熊谷富子, 真壁利枝(2013). 【3ステップで職場がイキイキ!看護のワークライフバランスマネジメント実践集】(第II部)ここまでできる!先進的な取り組み ワークライフバランスマネジメント実践集(事例4)公平な処遇に留意し全員に充実したWLBを. Nursing BUSINESS, 冬季増刊, 95-101.
- 草野淳子, 高野政子, 中垣紀子(2014). 子育て中の看護師の復職プロセスと対策に関する文献的研究—ワーク・ライフ・バランスに着目して—. 日本看護学会論文集:看護総合, 44, 232-235.
- 丸山昭子(2012). 未就学児の母親である看護師のバーンアウトの関連要因. 日本看護科学会誌, 32(2), 44-53.
- 宮木康成, 三宅馨, 高田智价, 橋本雅, 小田隆司, 山口万紀子... 竹村秀雄(2008). 社会的因子からみた周産期死亡率・妊産婦死亡率の検討 助産師充足率を中心に. ペリネイタルケア, 27(12), 1250-1252.
- 溝上憲史(2014). マタニティハラスメント(pp38-80). 宝島社新書.
- 水谷典子, 林智子, 清水房枝(2015). 一人前の段階にある看護師の情緒的組織コミットメントの変化に影響する要因. 三重看護学誌, 17, 53-64.

- 内閣府(2015). 国民経済計算確報主要統計データ(記者公表資料). <http://www.esri.cao.go.jp/jp/sna/menu.html>
- 中川光子, 須栗裕子, 大平律子, 高山裕子, 岩崎佳子(2012). 子育て中の看護師の職業継続に関する要因調査. 日本看護学会論文集:看護管理 42, 212-215.
- 中野円佳(2014). 「育休世代」のジレンマ 女性活用はなぜ失敗するのか?. 光文社新書.
- 日本医療労働組合連合会(2014). 看護職員の労働実態調査「報告書」. 医療労働, 臨時増刊.
- 日本看護協会(2015). 2025年に向けた看護の挑戦 看護の将来ビジョン～いのち・暮らし・尊厳をまもり支える看護～. <https://www.nurse.or.jp/home/about/vision/pdf/visio-n-4C.pdf>
- 日本看護協会(2014). 平成24年度版 潜在看護職員の就業に関する報告書ーナースセンター登録データに基づく分析ー. <https://www.nurse.or.jp/home/publication/pdf/2014/senzai-24.pdf>
- 日本看護協会(2013a). 看護職の夜勤・交代制勤務に関するガイドライン(資料付き). 日本看護協会.
- 日本看護協会(2013b). 看護職のワークライフバランス推進ガイドブック(pp14-15). 日本看護協会. <http://www.nurse.or.jp/kakuho/pc/various/guidebook/part1/index.html>
- 大賀明子, 勝川由美, 藤原由紀子, 永井祥子, 坂梨薫(2009). 分娩取り扱いと人的資源からみた産科診療の現状. 母性衛生 49(4). 450-459.
- 太田加世(編)(2015). 看護管理ファーストブック. 学研メディカル柔潤社.
- Paterson, J, L, Dorrian, J, Pincombe, J, Grech, C, Dawson, D. (2010). Mood Change and Perception of Workload in Australian Midwives. Industrial Health. 48(4), 381-389.
- 下岡あずさ, 木下学美, 野村知枝, 大林美代子(2006). 看護師として働く母親と看護師を母親に持つ子どもの意識調査. 香川労災病院雑誌, 12, 47-50.
- 杉浦浩美(2009). 働く女性とマタニティ・ハラスメントー労働する身体と産む身体を生きる(pp147-166). 大月書店.
- 橘田春菜, 平田良江, 名取初美(2013). 仕事と育児を両立する助産師の原動力. 山梨県母性衛生学会誌, 12(1), 1-7.
- 竹信三恵子(2014). 家事労働ハラスメントー生きづらさの根にあるもの(pp119-146). 岩波新書.
- 高橋弘枝(2011). ワークライフバランス委員会の活動と看護部の取組み. 看護, 63(6), 52-55.

- 谷脇文子(2011). 産前産後・育児休業10ヵ月以上～1年間取得看護職員の職場復帰支援における個人的要因、組織的要因の視点からみたニーズの動向. 高知女子大学紀要(看護学部編), 60, 35-45.
- 徳留静代, 濱松加寸子(2013). 潜在助産師の就業ニーズに関する実態調査. 母性衛生, 54(3), 319.
- 徳田麻美, 河野佳美, 阿部彩乃(2013). 看護師の育児支援ニーズ. 日本看護学会論文集:看護管理, 43, 471-474.
- 巴山玉連, 佐々木かほる, 北爪明子(2014). 再就業した元潜在看護職の勤務継続意志に関する要因. 社会医学研究, 31(1), 45-52.
- 塚田聡, 吉川峰子, 小澤やつ子, 松永真実(2014). 【夜勤者不足?スタッフの不公平感?悩めるワークライフバランスを解決する!】悩めるワークライフバランスはこう解決する!. Nursing BUSINESS, 8(11), 1028-1031.
- ウイリアムソン彰子, 勝原裕美子(2015). 論点3:組織文化と組織倫理 A 組織文化とは何か. 井部俊子, 勝原裕美子(編), 看護管理学習テキスト(第2版)看護組織論(pp.46-55). 日本看護協会出版会.
- Yang, H. J., Kao, F. Y., Chou, Y. J. et al. (2014). Do Nurses Have Worse Pregnancy Outcomes Than Non-Nurses?. Birth, 41(3), 262-267.
- 吉倉充子(2009). 多様な勤務形態の導入と実際 看護師定着がうまくいく!ワークライフバランスお手本集潜在看護師、子育て看護師にアピールできる!. ナースマネジャー 11(3), 54-59.